

V-RODは 憧れから始まった

ガレージ一軒は茨城県の桜土浦インターから10分程度の閑静な場所にあるガレージ。代表の小里氏は、元は四輪船を歩んできた方で、V-RODは単純に自分の憧れたマシン。発売当初はディーラーに行きカタログを貰ってきては、それを眺める毎日だったなど。最初は価格が高いなと思ったんですね。でも数年経つたら安くなってきたから

ら、これなら買つてもいいかと思ったんです」購入した時点から得意のマフラー製作に取り組んだと言う。

そんなきっかけで始まつたV-RODロバーツ造りは、四輪で培つたノウハウをタップリと注ぎ込んだ逸品。そのトイツシューを見ると、仕上がりの良さに思わず笑顔になつてしまふほど。それに、ダイナパックSP1000という非常に特殊な(なぜ世界で一台しか存在しない)シャーシダイナモを使用してのセッティングには定評がある。通常と違いリア

スプロケットに直接マシンが接続され、スリップすることなく様々な負荷をかけることによって、かなり実走行に近いデータを得ることが出来るという。このマシンを使ってコンピューターセッティングを行うので、理想的な空燃比を割り出せるのだ。

いつかはボンネビルに出場して、V-ROD最速を出してみた」と語る小里氏。「日本人がアメリカの造ったマシンで世界最速ってなんかイイじゃないですか」。夢を夢で終わらせない力強さを感じさせてくれたのだ。

**夢はボンネビルで
V-ROD最速を目指します!!**

世界に一台しかないDYNO PACK SP1000で、
実走行に近いカタチでセッティング!!

**V-ROD
STYLE宣言!!**



この撮影の時に、おもむろにジャッキアップしてリアホイールを外し始めたので、一体何が始まるのかと思いました。セッティングのノウハウは四輪でも経験済みだから安心して頼むことができるだろう

